

「JA小松市園芸振興新規就農者支援事業」

令和3年（4月コース）募集要項

1. 事業内容

(1) 事業概要

北陸最大のトマト産地である「小松とまと」を中心とした施設園芸、また、産地指定を受けているニンジンをはじめとした露地園芸を振興するために、新規就農者を受け入れ担い手に育成するため、行政、農業関係者、生産者組織が一丸となり、新規就農者が独立して農業経営ができるよう、実践的な研修を行うとともに研修終了後の就農に向けた支援を実施します。

(2) 研修場所

JA小松市新規就農支援センター（石川県小松市上小松町丙252）

(3) 研修期間

2年間（令和3年4月～令和5年3月）

- ① R3.4～R4.3 JA小松市の研修ハウス、研修圃場にて技術講師の下で実地研修中心に併せて、いしかわ農業総合支援機構「耕稼塾（実践科）」、南加賀農林事務所での座学研修、JA小松市作物部会の先進地視察研修への参加を行っていただきます。なお、農家への実地研修もカリキュラムに組み込んでおります。
- ② R4.4～R5.3 JAにて1年間後輩の指導を含め農場の臨時職員として農作業を行う傍ら、農業経営をより実践的に行っていただきます。
R4.10月からはパイプハウスを自分で補修・建設できるよう併せてハウス建設研修を行います。

※ なお、いしかわ農業総合支援機構「耕稼塾（本科）」をすでに終了し、当JAの研修農場での実地研修を希望する場合は、上記①の1年目の実地研修と②のパイプハウスの研修と併せ1年間も可とします。しかし、2年研修をお勧めします。

※ 現在サラリーマンの方で、どうしても農業をやってみたいが経済的に脱サラをためらっている方や将来的に農業者を目指している方のみに、「聴講生」として参加できる日に研修の参加を認めます。詳細は面接時にお話しします。

(4) 研修内容

トマトの養液栽培、又は土耕栽培のトマト・きゅうりの施設園芸で独立就農しようとする方に対し、実際にJA小松市が用意したパイプハウスで栽培を行い、翌年度より自分で独立し栽培できるよう座学・実地の研修を行います。

【実習】

- ① 研修技術講師の指導の下、研修農場にて栽培実習
- ② パイプハウス建設実習（JA全農、生産者）
- ③ マーケティング研修（JAめぐり）
- ④ 公設市場で農産物流通についての実習（丸果小松青果(株)）

【座学・演習】

- ⑤ 小松市の園芸農業の概要について（J A小松市）
- ⑥ 農産物の流通と市場の基礎知識（J A全農、公設市場小松丸果）
- ⑦ 作物部会や部会青年部が行う先進地視察研修や公設市場との意見交換会の参加。
- ⑧ トマト、きゅうり、根菜の生理生態・品種特性の基礎知識
- ⑨ 養液栽培及び土耕栽培の基礎知識（南加賀農林総合事務所、施設園芸部会）
- ⑩ 肥料・農薬・保温資材及び包装・出荷資材の基礎知識（J A小松市、全農）
- ⑪ 野菜の病害虫対策の基礎知識（南加賀農林総合事務所）
- ⑫ 農業経営、簿記・税務申告の基礎知識（南加賀農林総合事務所、J A小松市）

【就農準備】

- ⑬ 就農支援制度（認定就農者、制度資金、小松市定住促進事業等）
- ⑭ 就農計画の策定
- ⑮ 就農予定地の農業調査、先進農家の視察等
- ⑯ 卒業報告会

（5）研修講師

J A小松市、南加賀農林総合事務所、小松市、J A全農等

（6）研修中の支援

J Aグループの支援

研修1年目【J Aグループ石川新規就農支援事業】 60万円の支援

研修1年目【J A小松市園芸振興新規就農者支援事業】 60万円の支援

研修2年目【J A小松市臨時職員】 J A小松市臨時職員として1年間勤務し、農場運営やJ Aあぐり直売所での実地研修をしていただきます。

独立就農後の支援

J A、県、市、（公財）いしかわ農業総合支援機構等が連携して、以下の事項を総合的に支援します。

○研修終了後の就農に向けた就農計画の作成、各種補助金の申請

○農地（借り入れ）及びビニールハウス、農舎の斡旋

※ビニールハウスは、J A小松市がレンタルハウス（養液栽培装置込み）を準備します。

○運転資金の調達（融資相談）

行政の補助制度

【小松市環境王国ひとつづくり支援事業】

独立必要経費の1/2（上限100万円×3年間）の補助制度あり

【農水農業次世代人材投資事業（経営開始型）】

独立就農後最大150万円×5年間の補助制度あり

（7）就農支援

- ① 独立就農後3年間を目途に、研修サポート隊（J Aグループ、作物部会、南加賀

農林総合事務所、市役所フォローアップ体制）が軌道に乗るまでしっかりサポートします。なお、同じく3年間は後輩研修者とともに成果発表会を行っていただきます。

- ② 研修終了後は、後輩研修者への技術的・人的支援も行えるよう、後輩研修者との検討会、作物部会のメンバーとの交流会を積極的に行います。
- ③ 研修終了後の就農に向け、農地・施設の取得及び資金調達のための融資等の支援、農業次世代人材投資事業（経営開始型）等の補助金申請支援をします。
- ④ 独立にあたり、JA小松市が建設するレンタルパイプハウスを使用し就農を開始していただきます。なお、農舎については、旧野菜選果場（トイレ完備）を研修卒業生にのみ希望があればシェアして格安でお貸しします。
- ⑤ 近年、離農者が増える想定の中で、希望があれば、研修卒業生と離農する農家の施設・農地を居抜きで賃貸借できるようJA小松市がマッチングを行います。

2. 募集内容

(1) 募集人員 若干名

(2) 応募資格

- ① 原則として、令和3年1月1日時点で18歳以上の方
- ② 性別、農業経験の有無は不問
- ③ 施設園芸（トマト・きゅうり）を中心とした野菜農家を目指す就農意志のある方
- ④ 研修終了後、小松市内で就農しJA小松市各作物部会に加入し、出荷作物を共選出荷できる方

(3) 募集期間 原則として、令和2年9月14日～12月30日まで

3. 応募方法

(1) 提出書類

「JA小松市園芸振興新規就農者支援事業」

令和3年（4月コース）募集受講申込書

(2) 提出方法

上記募集期間内に下記の提出先まで平日の8：30～17：30の間に持参、または郵送により提出してください。

〒923-8611 石川県小松市上小松町丙252 0761-22-5111

JA小松市営農センター内 新規就農支援センター 担当：南出

(3) 面接

- ① 日時：随時
- ② 場所：JA小松市本店営農部にて説明・就農相談

(4) 現地体験会（参加必須）

施設園芸もしくは露地園芸を併せ、7日間程度の日程で行います。日時、場所に

については、上記の募集説明会にて調整致しますので、説明会后1か月前後の日程を事前に把握して募集説明会に臨んでください。（なお、7日間の日程が取れない方は最低でも3日×2回とします）

4. 受講決定

(1) 選考方法

選考委員による書類及び面接審査を実施し、JA小松市が研修者を決定します。なお、選考に当たっては、「就農に対する意気込み、農業経営に対する考え方、家族の同意、地域への適応についての考え方、健康状態」を総合的に判断します。

(2) 選考結果

すべての応募者に郵送にて下記日程までに通知します。なお、受講が決定した方については、同封する受講に関する詳細事項を熟読し、提出書類の提出期間を厳守し、受講に備えてください。

5. 研修条件

(1) 費用

- ① 受講にかかる費用は無料とします。
- ② 研修受講にかかる個人経費（災害保険料、一部テキスト代、交通費等）、生活費は自己負担とします。
- ③ 本事業における生産物売上代金はJA小松市の収入とします。

(2) 災害補償

研修者は、傷害保険への加入を必須とします。（なお、JA小松市でも傷害保険の取扱いを行っていますのでご希望の方はその旨連絡ください。）

(3) 研修時間及び休日

- ① いしかわ農業総合支援機構の「耕稼塾」の研修は、研修先の条件に従います。
- ② 研修圃場の研修時間・休日は、原則8時30分から17時30分（昼休憩1時間）とします。休日は土曜日、日曜日、祝日とします。但し、収穫開始（5月～10月）は早朝や休日の作業があるのでシフト制としますが、就農後の実践に近い形をとるため、残業、休日は農場長の指示に従ってください。

6. その他の事項

(1) 個人情報の取扱い

本募集要項に基づく提出書類における個人情報については、研修者の選考、研修期間中の指導、就農支援及びその他本事業の運営に関する目的に使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

(2) 注意事項

- ① 独立就農を開始するには、通常、自己資金（収穫物販売までの運転資金及び生活費が概ね300万円程度）は必要となりますが、詳細については面接時、具体

的にお話しさせていただきます。

- ② 就農の際は、本人の努力・熱意・体力とともに、地域との協調が求められます。
- ③ 就農には、パートナー（配偶者、共同経営者等）は問わない）が居た方が良いでしょう。研修もできる限り2人での参加が望ましいですが、1名でも受け入れます。

※「心構え」研修中、また就農開始に当たり、環境の変化や途中で様々な情報を得て迷うこともあると思います。農業は基本的に一年一作です。就農後、「石の上にも3年」という気持ちが必要です。成功者の要素は、「あきらめずに続けた」こと。この一点です。一緒に頑張りましょう。

8. 問い合わせ先

〒 923-8611 石川県小松市上小松町丙2 5 2 0761-22-5111

J A 小松市営農センター内 新規就農支援センター

(担当：南出 メールアドレス k-minamide@komatsushi.is-ja.jp)

【モデル経営指標】（数字は目標値です）

通年で夫婦2人+収穫ピーク時アルバイト2~4人（2か月間）（熟練度による）

(1) 施設園芸（トマト、きゅうり、葉菜類） 3,300 時間

養液トマトハウス（年2作） 20a 売上高 1,400 万円（粗利益 540 万円）

土耕トマト+きゅうり+葉菜類 10a 〃 520 万円（ 〃 290 万円）

(2) 施設園芸（養液トマト）+露地野菜（ニンジン、大根） 2,900 時間

養液トマトハウス（年2作） 20a 売上高 1,400 万円（粗利益 540 万円）

ニンジン 50a+ 春大根 20a 〃 250 万円（ 〃 85 万円）